

2学期始業式 学校長の話（2025年8月26日）

- おはようございます。皆さん、長い39日間の夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まります。この夏休み、部活動に、習い事に、それぞれが頑張ったのではないでしょうか。いくつかの部活動の練習や試合、演奏会を見に行かせてもらいましたが、皆さん本当に一生懸命で、とても輝いていました。
- また、この夏休みで部活動を引退した3年生の皆さん、本当にお疲れさまでした。2年半のがんばりと、そこでできた仲間は一生の宝物になります。私自身、中学校を卒業して40年になりますが、今でも一番仲のいい中学校の時代の友だちは、一度も一緒にクラスになったことのなかった部活動の友だちです。これからは部活動の頑張りを、勉強の方にシフトしてくれたらと思います。がんばってください。
- 夏休みはあつという間だったかもしれません、2学期は季節をまたぐ長い期間になります。終業式は12月23日です。今はまだ暑い日が続いているが、この2学期が終わるころには、季節はすっかり冬へと移り変わっています。こんなにも長い2学期ですが、120日間を何となく過ごしてしまうと、あつという間に終わってしまいます。だからこそ、ぜひ自分なりの目標を立てて、この2学期を有意義に、実りある時間にしてほしいと思います。
- さて、この2学期、僕から皆さんにお願いしたいことが1つあります。それは、「**自分を大切にすること、そして隣にいる人を大切にすること**」です。みなさんは、「アガペー」という言葉を聞いたことがありますか？これは古代ギリシャ語で、日本では「隣人愛」と訳されました。「隣の人を愛しなさい」とも言わますが、原文の意味は少し違います。本来は、「おたがいに大切にしあうこと」、「相手の尊厳を認めて、思いやること」といった意味がある哲学用語です。
- つまり、自分が家族や親しい人から大切にされた経験を、今度は自分が周りの人にも返していく、ということです。「隣の人を家族のように愛する」と考えると難しいかもしれません、「隣の人を大切にする」という気持ちを持つことなら、きっとできると思います。互いを思いやり、尊重し合えるクラス・学校にしていけば、きっとみんなが気持ちよく過ごせる2学期になるはずです。
- それでは、何かと行事の多い2学期ですが、充実した日々を一緒に過ごしていきましょう。

※補足

本講話の中で言及した「アガペー（ἀγάπη）」は、特定の宗教的意味を有する用語としても知られておりますが、ここでの使用はあくまで古典ギリシャ語における語義「無償の愛」や「尊厳の相互承認」を基盤とした倫理的概念としてのものです。教育実践においては、対人関係における他者理解・共感的態度の涵養を目的とした価値語彙として、非宗教的文脈で用いられることが多くあります。本趣旨をご理解のうえ、お読みいただけますと幸いです。